

# 令和 2 年 度 事 業 報 告

(自 令和 2 年 4 月 1 日～至 令和 3 年 3 月 31 日)

年月日	事業名	開催場所	摘 要
令 2. 5. 19	役員等候補者選出委員会	書面決議	<p>第 2 回役員等候補者選出委員会（令和 2 年 6 月期選出候補者）を開催（書面決議）。</p> <p>決議があったものとみなされた日：令和 2 年 5 月 19 日</p> <p>役員等候補者選出委員会委員 4 名全員による書面決議 （祖父江和夫氏、手島康博氏、早野敏美氏、持田二郎氏）</p> <p>新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、評議員会議長名にて書面決議とさせて頂く旨を全委員に提案し、5 月 11 日付で評議員・理事・監事各候補者の資料を各委員にお送りして審査をお願いした。</p> <p>5 月 19 日までに委員の全員から書面により審査結果が提出された。審査結果を集計した結果、評議員、理事、監事の候補者全員がそれぞれの役職にふさわしいとの判定がなされたことを確認した。</p> <p>この結果、当会定款（第 22 条、第 41 条）の評議員会、理事会の「決議の省略」規定を準用し、当該提案を可決する旨の役員等候補者選出委員会があったものとみなされた。</p> <p>〔評議員候補〕（五十音順）</p> <p>石田 明氏（パナソニック株式会社） 太田昭吾氏（株式会社 昭電） 大淵一央氏（富士通株式会社） 沖谷 章氏（東海旅客鉄道株式会社） 北島尚史氏（東京電力ホールディングス株式会社） 堺 宏明氏（三菱電機株式会社） 佐々木昭悟氏（株式会社 関電工） 佐藤 晃氏（東京地下鉄株式会社） 軸屋尚久氏（関西電力送配電株式会社） 篠原郁二氏（日本電気株式会社） 祖父江和夫氏（一般社団法人 電気通信協会） 秦 利男氏（株式会社 日立製作所） 樋口達也氏（中部電力株式会社） 松本袈裟文氏（株式会社 興研） 三戸雅隆氏（株式会社 フジクラ） 向井 稔氏（株式会社 東芝） 安井和之氏（株式会社 明電舎） 吉田 隆氏（富士電機株式会社）</p> <p>〔理事候補〕（五十音順）</p> <p>梶原滋正氏（本田技研工業株式会社） 川上景一氏（一般社団法人 電子情報技術産業協会） 寒川哲臣氏（日本電信電話株式会社） 高本 学氏（一般社団法人 日本電機工業会） 坪井 裕氏（株式会社 島津製作所） 富岡義博氏（電気事業連合会） 日高邦彦氏（東京大学名誉教授） 平栗健二氏（東京電機大学）</p>

年月日	事業名	開催場所	摘 要
			古澤 宏氏（一般社団法人 日本電気協会） 松井利行氏（公益財団法人 電気科学技術奨励会） 村上和夫氏（株式会社オーム社） 安田一成氏（東日本旅客鉄道株式会社） 横山明彦氏（東京大学大学院） 吉野泰宏氏（京成電鉄株式会社） [監事候補] 仲田一元氏（仲田公認会計士事務所） 八島恵子氏（株式会社オーム社）
令 2. 6. 4	理事会 (第 1 回)	書面決議	令和 2 年度第 1 回理事会（令和元年度決算承認理事会）を開催（書面決議）。 決議があったものとみなされた日：令和 2 年 6 月 4 日 理事 13 名全員による書面決議 （横山明彦氏、間宮馨氏、梶原滋正氏、川上景一氏、寒川哲臣氏、高本学氏、 富岡義博氏、古澤宏氏、本田直志氏、三木一克氏、村上和夫氏、安田一成氏、 松井利行氏） 新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、令和 2 年 5 月 26 日、代表 理事（会長）の横山明彦氏が、令和 2 年度第 1 回理事会の決議の目的であ る事項を理事及び監事の全員に対して提案した。 当該提案につき、令和 2 年 6 月 4 日までに、理事の全員から書面により 同意する旨の意思表示を、監事の全員から書面により異議がない旨の意思表 示を得たので、当会定款（第 41 条）に規定されている理事会の「決議の省 略」に基づき、当該提案を可決する旨の理事会があったものとみなされた。 [議事] ・第 1 号議案 令和元年度事業報告（案）承認の件 令和元年度事業報告（案）を承認。 ・第 2 号議案 令和元年度計算書類等（案）承認の件 令和元年度計算書類等（案）を承認。 ・第 3 号議案 定時評議員会の招集の件 以下の定時評議員会招集を承認。 (1) 日時：令和 2 年 6 月 24 日(水) 14:30～15:30 (2) 場所：学士会館 302 号室（東京都千代田区神田錦町 3-28） (3) 目的である事項等 i) 役員等候補者選出委員会を踏まえての評議員・理事・監事選任の件 ii) 令和元年度事業報告承認の件 iii) 令和元年度計算書類等承認の件 その他 (4) その他 ・第 4 号議案 役員等候補者選出委員会による評議員・理事・監事推薦の件 第 2 回役員等候補者選出委員会審議による判定結果(令和 2 年 5 月 19 日、 書面決議)を受け、評議員候補 18 名、理事候補 14 名、監事候補 2 名につ いて承認。

年月日	事業名	開催場所	摘 要
令 2. 6. 24	評議員会	学士会館	<p>令和 2 年度定時評議員会（令和元年度決算書類の承認）を開催。</p> <p>出席者：評議員 19 名中、出席評議員 12 名（江頭 誠氏、太田光昭氏、北島尚史氏、佐々木昭悟氏、佐藤 晃氏、軸屋尚久氏、篠原郁二氏、祖父江和夫氏、塚田龍也氏、樋口達也氏、松本袈裟文氏、吉田 隆氏）他に、当会監事・仲田一元氏が監査報告人、</p> <p>代表理事（会長）・横山明彦氏がオブザーバーとして出席。</p> <p>欠席評議員 7 名（秋山靖裕氏、後藤康之氏、関川茂夫氏、田中 明氏、秦 利男氏、福田 守氏、安川秀樹氏）</p> <p>議長に祖父江和夫氏を選出する。本評議員会の議決は定足数（評議員の過半数）を満たしていることを確認した後、議事録署名人として、篠原郁二氏、樋口達也氏を指名した。議事に先立ち、令和元年度定時評議員会（令和元年 6 月 21 日開催）の議事録を確認した。</p> <p>[議事]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第 1 号議案 役員等候補者選出委員会を踏まえての評議員・理事・監事選任の件 <p>評議員 18 名、理事 13 名、監事 2 名の任期満了に伴い、評議員候補者、理事候補者、監事候補者の推薦があり、役員等候補者選出委員会による審査の結果（5 月 19 日、書面により決議）、推薦を受けた評議員候補、理事候補、監事候補全員が適格と認められたことを事務局より説明。</p> <p>慎重審議の結果、役員等候補者選出委員会による判定のとおり、全員異議なく決議・承認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・評議員選任者（五十音順） <p>石田 明氏、太田光昭氏、大淵一央氏、沖谷 彰氏、北島尚史氏、堺 宏明氏、佐々木昭悟氏、佐藤 晃氏、軸屋尚久氏、篠原郁二氏、祖父江和夫氏、秦 利男氏、樋口達也氏、松本袈裟文氏、三戸雅隆氏、向井 稔氏、安井和之氏、吉田 隆氏</p> </li> <li>・理事選任者（五十音順） <p>梶原滋正氏、川上景一氏、寒川哲臣氏、高本 学氏、坪井 裕氏、富岡義博氏、日高邦彦氏、平栗健二氏、古澤 宏氏、松井利行氏、村上和夫氏、安田一成氏、横山明彦氏、吉野泰宏氏</p> </li> <li>・監事選任者（五十音順） <p>仲田一元氏、八島恵子氏</p> </li> </ul> </li> <li>・第 2 号議案 令和元年度事業報告承認の件 <p>事務局から、令和元年度事業報告のポイント（第 67 回電気科学技術奨励賞の選定及び贈呈式、第 58 回電気科学技術講演会）についてそれぞれ説明。その他の活動として、分類部会による電気科学技術奨励賞の分類の定義についての検討と、この検討結果を踏まえた第 68 回電気科学技術奨励賞の受賞候補推薦募集への反映、媒体の特長を活かした情報発信（Web サイトの迅速性と印刷媒体の品質・閲覧性の使い分け）、及び、賛助会員、寄附者への働きかけによる財源の確保等について報告。</p> <p>慎重審議の結果、原案どおり承認された。</p> </li> <li>・第 3 号議案 令和元年度計算書類等承認の件 <p>事務局から、令和元年度計算書類等を詳細に説明の後、仲田監事から補足及び所感を得る。</p> <p>慎重審議の結果、全員異議なく承認した。</p> </li> </ul>

年月日	事業名	開催場所	摘 要
			<p>[報告事項]</p> <p>i) 第 68 回電気科学技術奨励賞候補推薦募集及び今後の日程の件 事務局から、第 68 回の電気科学技術奨励賞について、4 月中旬より受賞候補の推薦募集を行っており、Web サイトを通じての告知に加え、全国の電力会社、電機関連会社、各種団体、研究施設、大学・工業高専等へ発送して周知を図っていること、及び今後の日程（6 月 30 日の応募の締切り、第 1 回審査委員会、第 2 回審査委員会、11 月 25 日の贈呈式まで）について報告。</p> <p>ii) 第 59 回電気科学技術講演会の件 事務局から、第 59 回電気科学技術講演会の検討状況について報告。検討の経緯、及び検討状況は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度第 3 回（臨時）理事会（令和元年 9 月 25 日開催）での審議の結果、予算面、要員面の課題はあるが、開催時期や規模（講演者の数、会場等）にこだわらず、テーマや規模を絞ったセミナー等も含めて検討し、開催の継続に努めることになった。</li> <li>・東京大学工学系研究科電気系工学専攻 先端電力エネルギー・環境技術教育研究アライアンス（APET）と公益財団法人 電気科学技術奨励会の共催で、テーマは「AI 技術の電力・エネルギー分野への応用」、「電力・エネルギー分野における DX」等とし、講演者は最大 3 名、会場として東京大学工学部内の施設を用い、2020 年 8 月 3 日を開催日とすることで検討を進めていた。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、開催日を、2020 年 12 月～2021 年 2 月に延期。6 月 24 日現在、日程を調整中。</li> </ul> <p>以上をもって議事を終了した。</p>
令 2. 6. 24	理事会 (第 2 回)	学士会館	<p>令和 2 年度第 2 回（臨時）理事会を開催。</p> <p>出席者：理事総数 14 名中、出席理事 11 名（川上景一氏、高本 学氏、坪井 裕氏、日高邦彦氏、平栗健二氏、古澤 宏氏、松井利行氏、村上和夫氏、安田一成氏、横山明彦氏、吉野泰宏氏） 欠席理事 3 名（梶原滋正氏、寒川哲臣氏、富岡義博氏） 出席監事 2 名（仲田一元氏、八島恵子氏） 出席顧問 1 名（早野敏美氏）</p> <p>本理事会において理事長が選任されることに鑑み、横山理事に仮議長を務めて頂く。横山理事が仮議長席に着き、本理事会の議決は定足数（理事の過半数）を満たしていることを確認した。議事に先立ち、令和 2 年度第 1 回理事会（令和 2 年 6 月 4 日、書面により決議）の議事録を確認した。</p> <p>[議事]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第 1 号議案 代表理事（会長）、代表理事（理事長）、副会長、業務執行理事（専務理事）選任の件</li> </ul> <p>古澤宏理事から、代表理事（会長）に日高邦彦氏、代表理事（理事長）に横山明彦氏、副会長に坪井裕氏、業務執行理事（専務理事）に村上和夫氏をそれぞれ推薦する旨の提案があった。</p> <p>この提案を諮ったところ、全員異議なく承認した。</p> <p>横山理事が満場一致で理事長に選任されたことに伴い、横山理事長が議長席に着く。以降、会議は横山議長のもとで進行した。</p>

年月日	事業名	開催場所	摘 要
			<p>[報告事項]</p> <p>i) 評議員、理事、監事選任の件 事務局から、令和2年度定時評議員会において、役員等候補者選出委員会（5月19日、書面により決議）による判定のとおり、評議員18名、理事14名、監事2名が選任されたことを報告。</p> <p>ii) 第59回電気科学技術講演会の開催延期について 事務局から、令和元年度第4回理事会（令和2年3月10日開催）での承認を受け、第59回電気科学技術講演会を、東京大学工学系研究科電気系工学専攻先端電力エネルギー・環境技術教育研究アライアンス（APET）と電気科学技術奨励会の共催で、2020年8月3日に開催することで講演者の選定等の検討を進めていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、開催日を2020年12月～2021年2月に延期し、改めて日程を調整している旨の報告がなされた。 以上をもって議事を終了した。</p>
令2.7.7	分類部会	学士会館	<p>第68回電気科学技術奨励賞分類部会を開催。 出席者：分類部会委員4名中、出席委員3名（磯 敦夫氏、菅弘史郎氏、祖父江和夫氏） 他に、代表理事（会長）・日高邦彦氏、代表理事（理事長）・横山明彦氏がオブザーバーとして出席。 欠席委員1名（秦 利男氏） 議事：第68回電気科学技術奨励賞応募作の分類分けについて 祖父江和夫氏が座長席につき、第68回（令和2年度）電気科学技術奨励賞の応募作（受賞候補）34件（88名）の審査5分野（電力・エネルギー関係、産業・交通関係、家電・民生機器及びエレクトロニクス関係、情報・通信関係、教育関係）への分類分けについて審議した。 受賞候補による希望分野、及び応募作の内容に基づき、応募作の審査分野を、それぞれ、電力・エネルギー関係11件、産業・交通関係13件、家電・民生機器及びエレクトロニクス関係3件、情報・通信関係4件、教育関係3件とすることで委員の意見が一致し、7月13日に開催される第1回審査委員会に提案することになった。</p>
令2.7.13	顕彰 （第68回奨励賞第1回審査委員会）	学士会館	<p>第68回電気科学技術奨励賞第1回審査委員会を開催。 出席者：日高邦彦審査委員長、横山明彦審査副委員長、及び、審査委員20名中、出席委員15名（代理出席含む）。 欠席委員5名 7月7日開催の分類部会による提案のとおり、応募作34件の審査分野を、電力・エネルギー関係11件、産業・交通関係13件、家電・民生機器及びエレクトロニクス関係3件、情報・通信関係4件、教育関係3件とすることが承認され、速やかに審査を開始することを決定した。 審査委員20名（委員長、副委員長を除く）を5分野に分け、各委員は、それぞれ担当分野の書類審査（基礎審査）を行い、審査結果（基礎審査表）を8月28日までに事務局に提出することになった。</p>

年月日	事業名	開催場所	摘 要
令 2. 9. 10	顕彰 (第 68 回 奨励賞第 2 回審査 委員会)	学士会館	<p>第 68 回電気科学技術奨励賞第 2 回審査委員会を開催。</p> <p>出席者：日高邦彦審査委員長、横山明彦審査副委員長、及び、審査委員 20 名中、出席委員 16 名（代理出席含む）。</p> <p>欠席委員 4 名</p> <p>[第一次審査（基礎審査）]</p> <p>出席委員（委員長、副委員長を除く）が、審査 5 分野（電力・エネルギー関係、産業・交通関係、家電・民生機器及びエレクトロニクス関係、情報・通信関係、教育関係）に分かれて第一次審査（基礎審査）を行った。各分野で議論の結果、電気科学技術奨励賞候補として、第二次審査に合計 18 件の受賞候補を推薦することになった。</p> <p>[第二次審査（総合審査）]</p> <p>第一次審査終了後、全審査委員による第二次審査（総合審査）に移った。議論の結果、17 件（48 名）の受賞を決定した。</p> <p>続いて、受賞作の中で最も高い評価を受けた 1 件を文部科学大臣賞に決定し、それに次ぐ評価を受けた 1 件を電気科学技術奨励会会長賞に決定した。決定にあたっては、評価の高い 3 つの候補について決選投票を行い、最も得票数の多い受賞作を文部科学大臣賞、2 番目に得票数の多い受賞作を電気科学技術奨励会会長賞とした。</p> <p>なお、文部科学大臣賞には、日本電信電話株式会社、NTTエレクトロニクス株式会社による応募作が選出され、電気科学技術奨励会会長賞には、日立オートモティブシステムズ株式会社、株式会社日立製作所による応募作が選出された。</p> <p>最後に、事務局より、贈呈式を 11 月 25 日に東京神田・学士会館において実施する予定である旨が述べられたが、今回は、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮する必要があるとあり、9 月 28 日に開催される理事会で、贈呈式の開催形式、開催規模を決めること、詳細が決まり次第、審査委員にお知らせする旨が告げられた。</p>
令 2. 9. 28	理事会 (第 3 回)	学士会館	<p>令和 2 年度第 3 回（臨時）理事会を開催。</p> <p>出席者：理事総数 14 名中、出席理事 13 名（日高邦彦氏、坪井 裕氏、横山明彦氏、川上景一氏、寒川哲臣氏、高本 学氏、富岡義博氏、平栗健二氏、古澤 宏氏、松井利行氏、村上和夫氏、安田一成氏、吉野泰宏氏）</p> <p>欠席理事 1 名（梶原滋正氏）</p> <p>出席監事 2 名（仲田一元氏、八島恵子氏）</p> <p>出席顧問 1 名（早野敏美氏）</p> <p>理事会議長として横山理事長が議長席につき、本理事会の議決は定足数（理事の過半数）を満たしていることを確認した。議事に先立ち、令和 2 年度第 2 回（臨時）理事会（令和 2 年 6 月 64 日開催）の議事録を確認した。</p> <p>[議事]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第 1 号議案 第 68 回電気科学技術奨励賞受賞者決定の承認の件 令和 2 年度の第 68 回電気科学技術奨励賞の受賞者を、9 月 10 日の同賞審査委員会の決定どおり承認した。</li> <li>・第 2 号議案 第 68 回電気科学技術奨励賞贈呈式の開催形式の件 事務局から、第 68 回電気科学技術奨励賞の贈呈式は、11 月 25 日 16 時 30 分より学士会館で開催する予定だが、今年は、新型コロナウイルス感染</li> </ul>

年月日	事業名	開催場所	摘 要
			<p>症の影響を考慮しなければならないことから、本理事会にて、同賞贈呈式の開催形式、開催規模を議論して頂きたい旨が述べられた。</p> <p>議論の結果、第 68 回電気科学技術奨励賞の贈呈式は、出席（参加）人数を絞り、以下の開催形式・開催規模で開催することが決定、承認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受賞者、代表理事（会長、理事長）、理事・監事・顧問が出席する。</li> <li>・受賞者に、電気科学技術奨励賞、文部科学大臣賞、電気科学技術奨励会会長賞を授与する。</li> <li>・文部科学大臣賞受賞者に（贈呈式にご出席になることを前提として）、受賞作の内容を解説して頂く。</li> <li>・例年、贈呈式終了後に行っている祝賀パーティーは行わない。</li> <li>・贈呈式にご出席頂けない方々（受賞者のご家族等）にご覧頂けるよう、贈呈式の模様を簡易な形式でネットワーク配信することを検討する。</li> </ul> <p>また、出席理事より出された意見（コメント）に基づき、以下のとおり努めることになった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度以降はご祝辞を頂けるようよう 4 省庁との関係を密にする。</li> <li>・受賞者については、今年の贈呈式に盛り込めない場合でも、動画も含め、ネットワークや Web サイトを活用した連携を検討する。</li> </ul> <p>[報告事項]</p> <p>i) 第 59 回電気科学技術講演会の開催延期について</p> <p>第 59 回電気科学技術講演会は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、開催日を、当初の予定日（令和 2 年 8 月 3 日）から令和 2 年 12 月～令和 3 年 2 月に延期し、日程の調整が図られていた。</p> <p>（令和 2 年度第 2 回（臨時）理事会〔令和 2 年 6 月 24 日開催〕にて報告）</p> <p>しかし、その後も新型コロナウイルス感染症拡大のリスクが続いているため、令和 2 年度中の開催は難しいと判断して再度延期し、次年度（令和 3 年度）に改めて「第 59 回電気科学技術講演会」を実施する旨の報告が事務局よりなされた。</p> <p>開催時期、及び講演内容・講演形態については、令和 2 年度に予定していた講演内容・講演形態を踏襲する方針で進めることが報告された。</p> <p>ii) 令和 2 年度後半～令和 3 年度の行事日程について</p> <p>事務局から、令和 2 年度後半～令和 3 年度の行事予定について報告がなされた。令和 2 年度前半に引き続き、基本的に会議の時間帯を午後の半ばとすることで、会食の費用を抑えるように努めたことが説明され、ご協力をお願いする旨が述べられた。</p> <p>以上をもって議事を終了した。</p>
令 2. 11. 25	<p>顕彰 （第 68 回 電気科学 技術奨励 賞贈呈 式）</p>	<p>学士会館</p>	<p>第 68 回 電気科学技術奨励賞贈呈式を開催。</p> <p>日時：令和 2 年 11 月 25 日（水） 16:30～18:00</p> <p>場所：学士会館（東京都千代田区神田錦町 3-28）</p> <p>出席者：第 68 回電気科学技術奨励賞受賞者、及び公益財団法人 電気科学技術奨励会 理事・監事・顧問</p> <p>式典の内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 会長式辞</li> <li>(2) 電気科学技術奨励賞委員会審査報告</li> <li>(3) 電気科学技術奨励賞贈呈</li> <li>(4) 文部科学大臣賞贈呈</li> </ol>

年月日	事業名	開催場所	摘 要
			<p>(5) 電気科学技術奨励会会長賞贈呈  (6) 受賞者総代答辞  (7) 文部科学大臣賞・内容紹介</p> <p>本奨励賞の贈呈式には例年、受賞者をはじめ、受賞者のご家族、及び多くのご来賓をご招待しているが、今回は、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、受賞者と当会役員（理事・監事・顧問）のみによる式典となった。</p> <p>贈呈式は、16:30 より開始され、当会の日高邦彦会長が式辞を述べ、さらに審査委員会委員長として審査結果の報告を行った。引き続き、受賞者全員に電気科学技術奨励賞の賞状と雷神像の記念楯、副賞（賞金）の贈呈があり、さらに、文部科学大臣賞、電気科学技術奨励会会長賞の贈呈と進んだ。</p> <p>その後、全受賞者を代表し、文部科学大臣賞受賞の日本電信電話株式会社前田英樹氏が答辞を読み上げ、さらに、前田氏により、大臣賞受賞作の内容が解説された。</p> <p>文部科学大臣賞受賞作の解説をもって、贈呈式は滞りなく終了した。</p> <p>なお、例年、会長賞贈呈の後、4省庁（文部科学省研究振興局長、総務省国際戦略局長、国土交通省大臣官房技術総括審議官、経済産業省資源エネルギー庁長官）からのご祝辞を頂いているが、今回は、出席者を受賞者と当会役員に絞ったことから、4省庁からご来賓をお招きせず、ご祝辞も頂かなかった。贈呈式終了後の祝賀パーティーも、飲食を伴うことから行わなかった。</p>
令 3. 3. 4	理事会 (第 4 回)	学士会館	<p>令和 2 年度第 4 回理事会を開催。</p> <p>出席者：理事総数 14 名中、出席理事 11 名（日高邦彦氏、坪井 裕氏、横山明彦氏、川上景一氏、寒川哲臣氏、富岡義博氏、平栗健二氏、古澤 宏氏、村上和夫氏、吉野泰宏氏、松井利行氏）  欠席理事 3 名（梶原滋正氏、高本 学氏、安田一成氏）  出席監事 2 名（仲田一元氏、八島恵子氏）  出席顧問 1 名（早野敏美氏）</p> <p>理事会議長として、横山理事長が議長席につき、本理事会の議決は定足数（理事の過半数）を満たしていることを確認した。議事に先立ち、令和 2 年第 3 回（臨時）理事会（令和 2 年 9 月 28 日開催）の議事録を確認した。</p> <p>[議事]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第 1 号議案 令和 3 年度事業計画書（案）の件  事務局から、令和 3 年度（令和 3 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日）の事業計画として、主な事業（1. 第 69 回電気科学技術奨励賞の贈呈、2. 第 59 回電気科学技術講演会の開催、3. 創設 70 周年史制作の準備、4. 媒体の特長を活かした情報発信、5. 賛助会員・寄附者の維持・拡大による財源の安定確保）について各項目別に説明し審議に入る。  慎重審議の結果、全員異議なく承認した。</li> <li>・第 2 号議案 令和 3 年度収支予算書（案）の件  事務局から、事業計画に基づく令和 3 年度収支予算書（案）について、経常収益、経常費用等を勘定科目ごとに詳細に説明し審議に入る。  慎重審議の結果、全員異議なく承認した。</li> <li>・第 3 号議案 第 69 回電気科学技術奨励賞推薦候補募集の件  事務局から、同議案の概要を説明。電気科学技術奨励賞推薦候補募集の書類を全国の電力会社、電機関連会社、各種団体、研究施設、大学・工業高専等へ発送し、周知を図るほか、ホームページを通じての告知を行うことを説</li> </ul>



年月日	事業名	開催場所	摘 要
			<p>明。さらに、審査委員会の構成、及び奨励賞関連の行事日程を説明し審議に入る。</p> <p>慎重審議の結果、応募規定の誤植の修正を前提に、原案が承認された。</p> <p>・第4号議案 第59回電気科学技術講演会の開催の件</p> <p>事務局から、第59回電気科学技術講演会は、令和2年度に開催する予定であったが、予定期間中は新型コロナウイルス感染症拡大のリスクが続いたため、令和2年度の開催は取りやめ、令和3年度に、改めて第59回の電気科学技術講演会を実施することになった経緯を説明。</p> <p>そこで、第59回電気科学技術講演会を、以下の内容で実施することが改めて提案された。</p> <p>○令和2年度の提案を継承し、東京大学工学系研究科電気系工学専攻 先端電力エネルギー・環境技術教育研究アライアンス（APET）との共催で実施する。</p> <p>○共催によって、東京大学の施設で開催することが重要と考え、対面形式での開催を基本とする。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、春季（文部科学省主催の科学技術週間）の開催は難しく、まずは、夏季（7～8月）の開催で検討する。</p> <p>○参加者の規模としては、250名程度を想定するが、新型コロナウイルス感染症拡大のリスクが緩和せず、この規模での開催が難しい場合、①参加者数を2分の1～3分の1に減らして開催、②オンライン開催、及び、①と②を併用しての開催、等の手段により、令和3年度中の実施を目指す。</p> <p>○令和2年度のテーマを継承し、以下のテーマで検討する。</p> <p>「AI技術の電力・エネルギー分野への応用」 「電力・エネルギー分野におけるDX」等</p> <p>○講師としては、令和2年度の開催で予定していた3名に改めて依頼するが、人事異動等により講師を務めて頂くのが困難な場合や、技術のアップデートが必要な場合、後任の方を推薦して頂くことも検討する。</p> <p>○講演時間は、最大150分（2時間半）とする。</p> <p>○奨励会の予算から、1人当たり20,000～30,000円の謝礼を支払う。</p> <p>慎重審議の結果、全員異議なく承認した。</p> <p>[報告事項]</p> <p>・代表理事・業務執行理事の職務の執行状況の報告</p> <p>令和2年3月～令和3年2月の執行状況について報告。併せて、代表理事、業務執行理事、事務局長の意見交換が随時行われていることを報告した。</p> <p>以上をもって議事を終了した。</p>

以 上